

眼科

統括部長 中山容子

1 部門目標 手術件数 600 件

2 業務体制・スタッフ

統括部長 中山容子

医長 鈴木加奈子

名木野佑

視能訓練士 岩崎早苗 黒川潤子（育休） 大出彩恵

看護師 1 名（交代） 受付事務 1 名（交代） 医療クラーク 2 名

	午前	午後
月	新患・再診	白内障手術説明会・硝子体内注射
火	新患・再診	手術
水	新患・再診	特殊外来・硝子体内注射
木	新患・再診 / 手術	手術
金	新患・再診	未熟児網膜症診療

3 業務実績

●蛍光眼底造影検査（ 138 ）件

●レーザー手術

網膜裂孔（ 8 ）件 糖尿病網膜症（ 37 ）件 網膜静脈閉塞症（ 19 ）件

加齢黄斑変性他（ 6 ）件 虹彩光凝固術（ 0 ）件

後発白内障（ 47 ）件 未熟児網膜症（ 1 ）件

●抗 VEGF 治療（硝子体内注射）

加齢黄斑変性・網膜静脈閉塞症・糖尿病網膜症・未熟児網膜症などに対し抗 VEGF 治療を自院で施行しています。疾患、患者様個々の状態により、各種薬剤を使い分けています。（ 501 ）件

●手術

白内障手術はこれまで全例 2 泊 3 日入院でしたが、令和 4 年 12 月からは、一部を 1 泊 2 日に短縮して施行しています。

火曜日手術は午後のみ（当日朝入院、翌朝退院、1 泊）、木曜日手術は午前（前日午後入院、翌朝退院、2 泊）・午後（当日朝入院、翌朝退院 1 泊）に行っています。

認知障害を伴う症例に対する全身麻酔、成熟白内障などの難症例にも積極的に対応しております。

術式	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度
ECCE+IOL	1	0	0	2	0	0
PEA+IOL	371	367	393	510	459	463
ECCE	0	0	0	1	0	0
PEA	0	0	1	0	0	1
IOL 交換・挿入	0	0	0	0	0	0
角膜縫合	0	0	0	0	0	0
眼瞼下垂	0	0	0	0	0	0
翼状片	4	4	3	0	0	1
内反症	0	0	0	0	0	0
霰粒腫	3	6	3	4	5	6
脂肪ヘルニア	0	0	0	1	0	0
斜視	1	2	0	0	0	0
結膜腫瘍	1	4	1	1	2	5
虹彩切除	0	0	0	0	0	0
眼瞼腫瘍	7	1	1	1	3	1
その他	2	0	3	1	2	3
計	390	384	405	521	471	480

4 1年間の総括

令和 4 年度も、診療内容に大きな変更はありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の断続的流行により、手術のキャンセルを余儀なくされることもありました。

外来診療はこれまで通り、午前の外来を 2 人の医師で受け持っていますが、ご紹介患者様が多数受診され、対応しきれない日が続いたため、予約・紹介状の無い新規患者様の人数を 1 日 5 人と制限することに致しました。午後は白内障手術説明会・未熟児網膜症診療他、造影検査・小手術・レーザー治療などの特殊外来を、各医師が予約をとって診療に当たっています。

青葉・海浜病院相互の診療充実のため、両病院間で医師・視能訓練士の派遣を行っています。

5 今後の目標

以前は眼科医 2 人体制の時期もありましたが、令和元年度より 3 人体制を維持しております。令和 5 年度より部長の交代がございましたが、地域中核病院眼科として医療連携をより強化し、新型コロナウイルス感染持続の中でも、眼科的に必要と考えられる外来診療・検査・手術件数の維持・充実を目指します。

青葉病院との連携を強化し千葉市立病院の役割を果たしていきます。